

議会報告会実施報告書

開催日時	平成26年4月21日 19時00分 ~ 20時30分
開催場所	加茂公民館
出席議員	(班長) 松田 実 (司会) 木下 清 (副議長) 若杉輝久 (班員) 茨 智仁, 楠井常夫, 別府健二, 松田 実, 木下 清, 山条忠文
参加市民数	26人
実施内容	<p>議会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会挨拶 若杉輝久</li> <li>・出席議員自己紹介</li> <li>・新年度予算の概要 楠井常夫</li> <li>・委員会報告 総務消防委員会 茨 智仁 教育民生委員会 山条忠文 市民建設委員会 別府健二</li> <li>・質疑応答</li> <li>・意見交換会</li> <li>・閉会挨拶</li> </ul>
	<p>質疑応答</p> <p>&lt;質疑&gt; 臨時給付金について、給付対象者一人につき1万円となっているが、この申請手続きは必要なのか。</p> <p>&lt;答弁&gt; すべて国の財源で、担当窓口から皆さんの方に通知して、申請をいただくこととなります。</p> <p>&lt;質疑&gt; 旧坂出市内では光ファイバーが充足されている。加茂とか林田は部分ということで多少遅れている。光ファイバーまで実際使うことはないが、ボケ防止のために使ってみようと勉強している。いつ頃加茂地区の方は充足されるのか。</p> <p>&lt;答弁&gt; 予算は1億5千万円。平成26年から平成31年までの計画で、民間が整備するものに対して、市が補助をするという仕組みです。</p> <p>加茂地区、島嶼部、林田の方は光ファイバーが入っていませんが、時期は民間の事業であり、31年度までには整備されるとしか申し上げられません。</p> <p>&lt;質疑&gt; 新規事業の新婚世帯家賃補助制度について、目的は若者の定住人口の増加ということだが、これは効果があるのか。その判断のために、どのように調査をするのか。</p> <p>&lt;答弁&gt; 月1万円出して、2年間24万円、これもひとつの魅力</p>

	<p>だと思っておりますが、人口増対策が目標で、想定は約 100 組です。市長も我々も一生懸命考えていることでご理解ください。</p> <p>先日、不動産組合の方で制度説明があったそうで、坂出市への問合せも数件、来ているという話も聞いています。これは 26 年の 1 月入籍から認められますので、PR していただきたい。判断するのは、まず申請が何人あったか、利用していただける方が何人あったか、それに伴って他市・町から転入が何人あったのか。今後、検討、追跡していきたい。</p>
意見交換	<p>&lt;意見&gt; 出張所のあり方について、ほとんど窓口は本庁中心になっている。申請書等は全部本庁へ行かないともものにならない。市のホームページを見ると電子申請ということで、戸籍・住民票からはじまって、固定資産税の証明書の申請はできる。しかし、出張所では交付を受けることができない。高松市ではやっているが、坂出市では全部本庁に来なさいという、これはいかがなものか。地元ですべてが解決できるような出張所にしていきたい。</p> <p>&lt;答弁&gt; 電子申請またはネットなどを介して、地元の出張所で受け取ることができるようにとの話ですが、電子申請をして受け取るとなると、これは個人を証明するものが必要となります。一方、今、なりすまし等が大きな問題になっています。高松市のシステムは判りませんが、個人を認定する方式が確立すれば可能なように思えます。貴重な意見として研究させていただきます。</p> <p>&lt;意見&gt; 新病院は、緊急の 24 時間体制が整うのか、というのは脳外科の先生の常勤ができるからです。現状では、倒れた場合、うちの病院はいませんから他の病院へ行ってくださいということで、最初から他へ行っていただき、紹介するかたちになっているが、今後はどうなるのか。</p> <p>&lt;答弁&gt; 綾市長の公約で、脳外科、産科もやりますと約束しています。しかし産科の先生については全国的に産科の開院ができない状況で苦慮しているのが現状です。脳外科については、一定の方向性が出ているんじゃないかという状況です。</p> <p>24 時間体制は、市民病院ですから市民の生命と健康を守るという義務があるわけで、24 時間というのは確認をしていますが、救急指定になるのは間違いないと思います。</p> <p>&lt;意見&gt; 女性の立場として、私は健診の結果、通院が必要となりましたが、市立病院の産婦人科の診察時間や曜日が限られているため、やはり市立病院には行けないと思い、他市の病院に通院しています。新病院ができて産婦人科の先生がいない病院ではちょっと、自分の娘に子どもができたとしたら、帰ってきて産んだらいいよと言ってあげられるような市になるように、婦人科と</p>

か産婦人科の先生を呼んでいただけるようお願いしたい。

<答弁> 綾市長も議会も一生懸命努力していますが、今現在、診療はするけれど実際にお産することができない。非常に重要な意見だと思います。市長ならびに病院等に伝えて、こういう思いの市民が大勢いるということを訴えてまいります。

<意見> 加茂は人口が増えて喜んでいるが、保育所はご承知のとおり、満員で他の地区の保育所へ入所しているような状態です。その反面、幼稚園は現在 34 名ということで非常にアンバランスな状況です。幼稚園は 14 時ぐらいで降園する一方で、保育所は 17 時過ぎまで預かってもらえる。幼稚園も教師とかを入れて延長することになれば、幼稚園も人数が増える。行政の方でバランスをとって幼稚園も増やすようにすればいいのではないかと。

<答弁> 今、国が子ども・子育て支援事業に取り組んでいます。坂出市も国の方針に従い、子ども・子育て支援会議を設置して議論をしているところです。保育所（園）、幼稚園のあり方について、幼保一元化に向けて幼保連携型認定子ども園といったことが議論され、今後の課題です。

<意見> 少子化の問題を盛んに取り上げているが、高齢化社会についてどのように考えているのか。老人がこれだけ増えているのであれば、それに見合う施設整備をしていかないと、今後、老人ホームとかいう施設に頼らないとやっていけないと思う。

少子化に目をむけるだけでなく、高齢化対策、例えば憩いの場とか、人が集まる、自由に使えるスペースを作らないと先が見えない。

王越地区は過疎地となっている。小学校もない、病院もない。そんなところに人がある程度、集まって助け合いできるような場所を提供するのが行政だと思います。農地が宅地等に変わっている。結局、後継ぎがないから農業をしない。それだけ年寄りに負担が掛かっている。人の集まる場所とか、助け合う場所を提供してあげることにより、市が発展するんじゃないかと思う。その辺を考えていかないといくらきれいごと並べたところで全然話にならない。

<答弁> 私たちもお互いに毎年歳をとるわけですが、坂出市は全国平均より 20 年早く高齢化時代を迎えています。今までお年寄りが頑張っている現在の坂出市があるわけですが、私たちも当然考えていかなければならない。貴重なご意見として、みんなが一同に集えるような物を設けていくというのも一つの方法だと思いますので、努力してまいります。